

# 改めて考える、 中堅社員への教育

組織の中核者として協働しながら  
業務を遂行する、**未来のリーダー候補**



## 中堅社員に関するよくあるお悩み・課題

### 01 次期リーダーになり得る人材が不足している

自身の担当業務は問題なくこなせるが、組織の中核人材としての自覚を持ち、周囲を巻き込みながら課題解決にあたるような、プラスαの動きができる人材が少ない

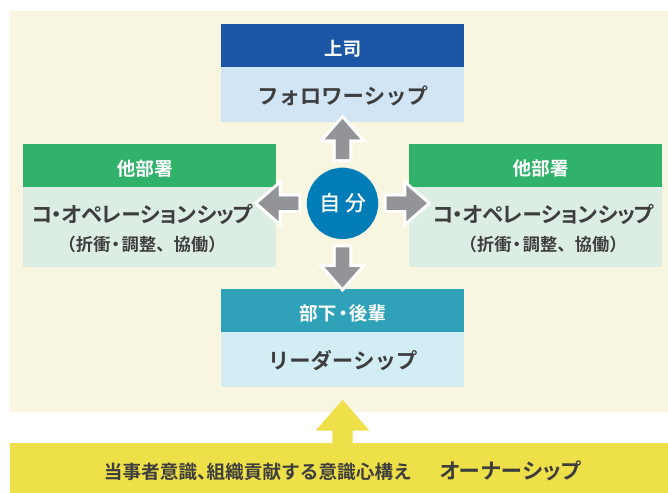
### 02 組織として中堅社員の教育・スキルアップを体系化できていない

新人の頃はケアしていたが、その後、管理職昇格時まで研修機会がなく、中堅社員としてのさらなる成長機会を作れていない

## 未来のリーダー候補に求められる「4SHIP」

次の「リーダー」として活躍していくため、プレーヤーとしての能力だけでなく、リーダーとしてチームを率い成果を出していくことが求められます。そこで必要となるのが、「4SHIP」です。4SHIPとはオーナーシップ、リーダーシップ、フォロワーシップ、コ・オペレーションシップ(協働のあり方)です。

オーナーシップ	組織のことを自分事として捉える
リーダーシップ	周りに影響力を発揮するためのマインド・スキル
フォロワーシップ	上司の支援と自律的な組織行動
コ・オペレーションシップ	部署を超えた組織的な動きを生み出す合意形成



## まずは現状の把握から 階層別テスト(中堅向け)

累計数百万人の社会人向け教育研修に携わってきた弊社がノウハウを体系化したアセスメント。意識調査ではなく、各階層に求められるスキルや能力をテストで問うことにより個々人のスキルレベルを数値で把握。

### 設問例

あなたの職場では、備品の補充やシュレッダーのごみは気づいた人がまとめています。次の人が困らないように、と皆が配慮している気持ちのよい職場です。ただ一人、Aさんだけは例外で、セロハンテープを使い切っても、新しいものと取り替えなかったり、シュレッダーのごみ捨てのサインが出ているのに、そのままにしていたりします。皆がAさんに少し不満を持っていますが、定年退職後に再任用されたベテランのため、誰も注意することができません。ある日の午前11時ごろ、あなたがシュレッダーを使おうとしたところ袋がいっぱいになっていました。あなたは30分ほど前に、Aさんがシュレッダーで大量に書類を処分し、袋にごみを押し込んでいたのを思い出しました。ふとAさんの方を見ると、自分の仕事に集中しているようです。



このような状況におけるアサーティブな対応として、適切なものを1つ選んでください。

1

仕事に集中している様子のAさんを邪魔するわけにはいかないので、「ゴミがいっぱいになったら袋を取り替えてください」と書いた紙をシュレッダーの上の壁に貼り付ける。

2

仕事に集中している様子のAさんを邪魔するわけにはいかないので、Aさんに都合のよい時間を聞く。他の人がいないところでAさんに忙しい中時間をとっていただいた感謝を述べつつ、皆が気持ちよく過ごせるよう、シュレッダーのゴミがいっぱいになっていたら捨ててほしいことを伝える。

3

Aさんはベテラン社員であり、今は再任用とはいえ敬意を払うべきであるので、Aさんには何も言わず、シュレッダーの袋を取り換える。

4

ベテランといえど、ルールは守ってもらう必要があるため、Aさんに声をかけ、その場で「先ほどシュレッダーを使われてましたよね。ゴミがいっぱいだったら詰め込むのではなく袋を取り替えてください」と注意する。

## 「階層別テスト」事例紹介～自走自律型教育の推進



### お客様の課題・背景

- アセスメントの実施経験がなく、**具体的な研修計画を立てることに苦労**している
- 自らが課題を認識して、研修を「受けなければならない」ではなく「**主体性を持って**」研修を選ぶツールとして活用したい

### インソースからのご提案

階層別テスト(アセスメント)で現状を把握し、個々の課題に応じて、**4,328種類**ある「**公開講座**」から研修を選んでいただき受講

※1 2024年6月末時点



### 階層別テスト受検後のおすすめ講座

- 人を動かすコミュニケーション研修～キーパーソンへ働きかける編
- 財務諸表の読み方研修～数字の意味を見通す力を鍛える
- 情報活用力養成研修～情報の収集・整理・分析編
- 30代向けキャリアデザイン研修～主体的かつ戦略的にキャリアを考える
- リーダーのための仕事の進め方研修～部署をまたぐプロジェクトを進める

インソースグループでは、時代のニーズに即した研修・動画コンテンツの企画・開発のみならず、**教育体系構築や採用、人事管理システム導入のご支援も承っています。ぜひお悩みをお聞かせください。**

お問い合わせはこちら

info\_tokyo@insource.co.jp 0120-800-225